

逆転勝利で年間 & 2nd ステージ首位！

9月12日（土）にサンフレッチェ広島はアウェイでモンテディオ山形と対戦し、3-1で勝利した。

前半35分に先制点を挙げられるが、その4分後にMF ミキッチが左足であげたクロスがそのままゴールに入り同点とし、前半を折り返す。後半15分に、FW ドウグラス選手がゴールを決め逆転。後半33分には、山形にPKをあたえるがGKの林卓人選手が見事にセーブすると、その直後にFW 浅野拓磨選手がハーフウェイライン手前からドリブルでゴール前まで持ちこみそのままダメ押しとなるゴールを決めた。下位にいるチームに押し込まれる場面もあったがしっかり勝ち年間首位の座をキープし、2nd ステージも首位に浮上した。



山形戦のスターティングメンバー

JTサンダーズ ロシア代表と練習試合を行う

JTサンダーズは9月5日（土）広島市の猫田記念体育館にてロシア代表との練習試合を行った。JTサンダーズは八子選手がW杯に臨む日本代表に選出され、ヴィソツト選手も合流前で不在という状況であったが、キャプテンで昨季MVPの越川優選手を中心として世界ランキング2位の強豪ロシア代表相手に好ゲームを繰り広げた。

結果は16-25、21-25、22-25のストレート負けとなってしまったが、第2、第3セットには素晴らしい粘りを見せ、観客を沸かせた。

土曜日に行われたこともあり、スタンドには多くの家族連れやファンが観戦に訪れていた。主に練習会場として使用される猫田記念体育館はシーズンオフの期間中に改修工事が行われ、より快適に観戦することができるようになった。また、試合会場に足を運んだことが無いという方も10月31日（土）から始まる今シーズンはぜひ会場で観戦してみたいだろうか。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆

NTT西日本広島 ソフトテニスクラブ 長江光一選手



生年月日 1987年10月28日
身長 174cm
血液型 O型
出身地 岡山県

担当者からのコメント

全日本選手権大会が滋賀で開催され、2連覇を目標に頑張ります！応援よろしくお願いします！



ロシア代表との練習試合



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



全日本社会人選手権 村上・中本ペア優勝

9月5日(土)、6日(日)の2日間、第43回全日本社会人選手権が愛媛県松山市で行われた。男子全284組エントリーのうち、NTTからは4組が出場した。鬼頭貴之・岩崎圭ペアはベスト32、堀晃大・原侑輝ペアは4回戦敗退、水澤悠太・長江光一ペアはベスト16という結果に終わるが、決勝まで駒を進めた村上雄人・中本圭哉ペアが先月の西日本選手権に引き続き2年ぶり2回目の優勝を果たした。10月の全日本選手権でも好成績が期待される。



優勝を果たした村上・中本ペア



全日本総合選手権大会出場決定！

8月29日(土)～9月2日(水)に全日本社会人バドミントン選手権大会が福岡県の北九州総合体育館で行われた。この大会はベスト16に入れば12月に東京で行われる日本最高峰の大会、「全日本総合選手権大会」への出場権を獲得できる重要な大会であり、広島ガスからは全選手が出場した。ダブルスでは小池温子・桜井みどり組がベスト16入りを果たし、続く混合ダブルスでも小池組、亀田楓・小町谷組がベスト16で、見事全日本総合選手権大会への切符を掴んだ。

続いて9月8日(火)～13日(日)に東京体育館でYONEX OPEN JAPAN2015が開催された。この大会はオリンピック、世界選手権に次ぐ大きな国際大会で、リオデジャネイロオリンピック前ということもあり、各国のトップ選手たちが出場する中、広島ガスからは、ダブルスに小池・桜井組、混合ダブルスには桜井組と、亀田組が出場した。各国のトップ選手ということもあり、ダブルス、混合ダブルス共に予選1回戦敗退となったが、世界のトップ選手相手に必死に戦った。また、9月19日(土)～20日(日)にも全日本総合の出場権がかかっている中国地区総合選手権大会が岡山県で開催される。



小池・桜井組



小池・石川(丸杉)組



亀田・小町谷
(信陽食品クラブ)組

第2回中国実業団長距離記録会

9月19日(土)に「みよし運動公園陸上競技場」にて第2回中国実業団長距離記録会が行われ、中国電力陸上競技部から4名の選手が出場した。前日の18日(金)まで強化合宿が行われており、練習の一環として出場した今大会。結果だけ見ると厳しいものとなったが、これからの個々の目標に向けての良いキッカケになったのではないだろうか。今後はトラック競技を挟みながら駅伝大会に出場する。ニューイヤー駅伝まで残り3か月。11月の予選を勝ち抜き今年も全国の舞台で活躍する中国電力陸上競技部が見たい。



山崎亮平選手



松井智靖選手



森本卓司選手



清谷匠選手



第37回全日本社会人ホッケー選手権大会 レッドスパークス惜しくも準優勝

第37回全日本社会人ホッケー選手権大会の初戦、GREEN Deers(大分)との対戦が9月21日(月)に岩手町ホッケー場で行われた。レッドスパークスは前半4分にペナルティーコーナーを獲得し、小野真由美選手のスイーパヒットに湯田葉月選手がタッチで合わせ、先制点を決める。その後も追加点を奪うなど、レッドスパークスのペースで試合を進め、13-0で快勝した。

翌日の9月22日(火)に岩手町総合グラウンドでグラクソ・スミスクライン(栃木)との準決勝が行われた。この試合も終始レッドスパークスのペースで試合を進め、三橋亜記選手の2得点の活躍により3-1で勝利した。

9月23日(水)に岩手町ホッケー場でソニーHC BLAVIA Ladies(岐阜)との決勝戦が行われた。試合は両チームともに一進一退の攻防が続く中で、ソニーHCに少ないチャンスを確実に決められ0-2で敗れた。

またレッドスパークスは今大会でベスト4以上の成績を残したので、11月13日から広島広域公園第二球技場で開催する「第76回全日本女子ホッケー選手権大会」に出場する。

8/26~9/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

8/26 カープ ○ 4-2 ● 阪神
8/27 カープ ○ 2-0 ● 阪神
9/8 カープ ○ 5-0 ● 中日
9/9 カープ △ 3-3 △ 中日
9/10 カープ ○ 4-2 ● 中日
9/15 カープ ○ 1-0 ● 巨人
9/20 カープ ● 4-6 ○ DeNA
9/21 カープ ○ 3-2 ● DeNA
9/25 カープ ● 0-3 ○ 阪神

サンフレッチェ広島

▽明治安田生命 J1 リーグ 2nd ステージ

8/29 サンフレッチェ ○ 5-2 ● 名古屋グランパス

9/19 サンフレッチェ △ 0-0 △ サガン鳥栖

▽第95回天皇杯全日本サッカー選手権大会

9/5 サンフレッチェ ○ 8-0 ● 広島経済大学

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

第 12 回安芸高田市ハンドボールカップが開催

9月12日(土)、13日(日)に第12回安芸高田市ハンドボールカップが開催された。この大会は、1996年に国体が、安芸高田市の湧永満之記念体育館での開催を記念して開催された大会で、男女ともに中学生が中国、四国地方、大阪から選手が参加し、ハンドボールの試合だけでなく、安芸高田市に民泊もする大会である。そして、ワクナガレオリックの選手たちが、審判を行ったり、ベストセブン、敢闘賞の選手を選んだりする。

初日は、予選リーグが行われ、男子は HC 江津、女子は大阪ジュニアが1位となった。

2日目に行われた、順位決定トーナメントは、延長戦に突入するなど、好ゲームの連続だった。男子は HC 江津、女子は大阪ジュニアが優勝した。また、地元の甲田中学校は、女子の連覇はなかったが男女共に2位と好成績をおさめた。

今後のこの世代の活躍に期待する。



開会式の様子

メイプルレッズの3選手が大朝小学校を訪問

9月9日(水)広島メイプルレッズの選手が大朝小学校を訪問し、ハンドボールの授業を行った。

当日は塩見綾香選手、塩田真奈美選手、加須屋朝緋選手の3人が参加し、ハンドボールを教えた。参加した小学生は元気いっぱい動き回り、ハンドボールを楽しんだ様子だった。

小学生の体力強化とともに、多くの小学生にハンドボールを好きになってもらい、ハンドボール人口が増えることを期待したい。



子供たちと記念撮影

私が元祖カープ女子 1日ホームランガール体験

9月8日(火)から9月10日(木)の対中日ドラゴンズ戦で「私が元祖カープ女子 1日ホームランガール体験」が行われた。初日は、この企画の発案者藤木淳子さんが務めた。この日は、初回にエルドレッド選手がホームランを放ち大役を果たした。2日目は、60年代代表の伊井慶子さんが、3日目は70年代以上代表の草田カズエさんが務めたが、ホームランは出なかったが、チームはこの3連戦を2勝1分けで終え、勝利の女神となった。

ヒーローの石原選手、ジョンソン投手と記念撮影する七〇年代以上代表の草田カズエさん



ホームランを放ったエルドレッド選手に人形を手渡す藤木淳子さん

